

特集

白河かるたが完成!

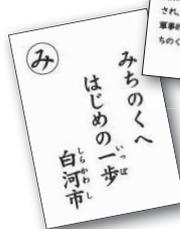
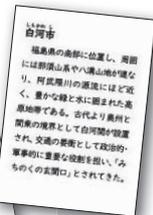
地域固有の歴史・伝統・文化などへの理解を深めるとともに、楽しい遊びを通して子どもたちの郷土愛の醸成を図ることを目的とする「白河かるた」が完成しました。



白河の魅力が詰まった 44の読み札・絵札

読み札の作成は「子どもたちに伝えたい・残したい白河の歴史・伝統・文化など」を題材に読み句を募集し、全国から寄せられた応募作品の中から44句を厳選しました。

また、白河の歴史・伝統・文化を深く知っていただくため、読み札の裏面にはそれぞれの読み句の解説文を記載しました。



◀白河かるたの読み句44句はこちらから



絵札の作成は、天栄村在住の画家・齋藤義雄さんに依頼しました。白河の風景や人物、出来事などを水彩画で表現した絵札は、子どもたちが郷土への愛着を持てるよう「温かみ・優しさ・親しみやすさ」を意識しました。

白河かるた完成まで 1年7か月の歩み

令和3年10月、歴史・教育の有識者や関係団体職員、一般公募選出者などからなる「白河かるた振興委員会」を設立し、令和4年2月から読み句選定が始まりました。

5月に全ての読み句が決定すると、6月からは画家の齋藤さんと振興委員会とで試行錯誤しながら、読み句のイメージに合う絵札を作り上げていきました。

一方で、読み札・絵札の作成と並行し、遊び方の検討も行いました。

群馬県で広く親しまれる「上毛かるた」を参考に、個人戦やチーム戦の方法を決めました。また、大人・子どもを問わず盛んに開催されている上毛かるたの大会を視察し、本市での大会開催に必要な手法などを学びました。

このような取り組みを経て、この春「白河かるた」が完成しました。



▲振興委員会の様子



▲絵札完成報告 (左端が齋藤さん)

子どもたちに白河の歴史・ 文化を広く伝えるために

白河かるたは、楽しく遊びながら本市の豊かな歴史・文化を学ぶことができます。

今後は、市内小学校などに配布し、かるた遊びを通して子どもたちの郷土愛の醸成を図ります。また、より多くの方々に親しんでいただけるよう、白河かるた大会の開催に向けた準備を進めます。

お土産やプレゼントにも!

白河かるた好評発売中!

1セット
税込み 1,000円

《取扱窓口》

- 白河観光物産協会
- 二ノ丸茶屋
- 翠楽苑
- 白河関の森公園
- 白河市役所本庁舎売店
- えきかふえ SHIRAKAWA
- 福島県文化財センター白河館(まほろん)
- 金子書店
- 昭和堂書店
- 関屋書店
- 東京第一ホテル新白河
- 表郷商工会
- 大信地域市民交流センターひじりん館
- きつねうち温泉

